

大日本帝國政府

內務省令第十八號
 警察官規則施行細則中左ノ通改正ス
 年 月 日 內務大臣 安藤 紀三郎
 第一條第一項中「認ムル者」ニ對シテハ左ノ區別ニ依リ所屬廳長
 官ニ對シテハ高等官ニ在リテハ內務大臣、其ノ他
 ノ者ニ在リテハ所屬廳長官ノ區別ニ依リ以テ改ム
 同項ニ九ノ但書ヲ加フ
 但シ特仕タル者、奏任タル警視廳官房主事及各部員、大阪府警察
 局長、奈良縣警察局長ニハ第一號ノ管與ハ之ヲ行ハザリキ
 トス

主計課
 昭和 19 11 11
 第 3 號

文書課
 19 2 23
 第 37 號

第 號	第 號	第 號
送受	送受	送受
月 日	月 日	月 日

貳四

大藏大臣了

次官 谷

一部改正案	警察官規則施行細則中	總務局長	木植
		文書課長	田松
官報掲載	總務局長	第二課長	田松
		第三課長	田松
十九四二十二	官報掲載	石原	德慶
		田安	田安

總務局長
 19 2 29
 第 300 號

大日本帝國政府

同條第二項中ハ内務大臣ノ認可ヲ受ケルヲ例ル
同條ニ左ノ三項ヲ加フ

第一項但書ノ者前項ニ該當スル場合ニ於テハ特別賞詞ヲ以テ特別

賞ニ代フルモノトス

廳府縣長官第二項但書ノ賞與ヲ行ハシトスル場合ハ内務大臣ノ認

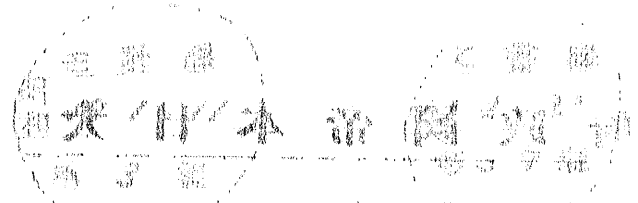
可ヲ受クベシ

廳府縣長官第一項又ハ第二項ニ依リ賞與ニベキモノ團體ノルトキ

ハ之ニ賞狀ヲ授與スルモノトス

第六條中ハ警防團一ノ等警團員又ハ警防團一ニハ功勞ノ有リ

ク功勞アリトシテハ之ニ改メ



Handwritten text and numerous official stamps, including circular seals from the Ministry of the Interior (内務省) and the Ministry of Finance (大藏省). The text is dense and appears to be a formal document or report.

大日本帝國政府

第四條第一項中「功勞」に「ト認ル者」に「下」の「又」の「團體」に「加フ」
附則
本令は公布の日より之を施行ス

大日本帝國憲法

第一條 大日本帝國は神聖不可侵削の國にして其の統治は天皇の權に在リ
第二條 天皇は神聖不可侵削の權を有ス
第三條 天皇は法律を御裁可ス
第四條 天皇は法律を公布ス
第五條 天皇は法律を執行ス
第六條 天皇は法律を公布ス
第七條 天皇は法律を執行ス
第八條 天皇は法律を公布ス
第九條 天皇は法律を執行ス
第十條 天皇は法律を公布ス
第十一條 天皇は法律を執行ス
第十二條 天皇は法律を公布ス
第十三條 天皇は法律を執行ス
第十四條 天皇は法律を公布ス
第十五條 天皇は法律を執行ス
第十六條 天皇は法律を公布ス
第十七條 天皇は法律を執行ス
第十八條 天皇は法律を公布ス
第十九條 天皇は法律を執行ス
第二十條 天皇は法律を公布ス
第二十一條 天皇は法律を執行ス
第二十二條 天皇は法律を公布ス
第二十三條 天皇は法律を執行ス
第二十四條 天皇は法律を公布ス
第二十五條 天皇は法律を執行ス
第二十六條 天皇は法律を公布ス
第二十七條 天皇は法律を執行ス
第二十八條 天皇は法律を公布ス
第二十九條 天皇は法律を執行ス
第三十條 天皇は法律を公布ス
第三十一條 天皇は法律を執行ス
第三十二條 天皇は法律を公布ス
第三十三條 天皇は法律を執行ス
第三十四條 天皇は法律を公布ス
第三十五條 天皇は法律を執行ス
第三十六條 天皇は法律を公布ス
第三十七條 天皇は法律を執行ス
第三十八條 天皇は法律を公布ス
第三十九條 天皇は法律を執行ス
第四十條 天皇は法律を公布ス
第四十一條 天皇は法律を執行ス
第四十二條 天皇は法律を公布ス
第四十三條 天皇は法律を執行ス
第四十四條 天皇は法律を公布ス
第四十五條 天皇は法律を執行ス
第四十六條 天皇は法律を公布ス
第四十七條 天皇は法律を執行ス
第四十八條 天皇は法律を公布ス
第四十九條 天皇は法律を執行ス
第五十條 天皇は法律を公布ス
第五十一條 天皇は法律を執行ス
第五十二條 天皇は法律を公布ス
第五十三條 天皇は法律を執行ス
第五十四條 天皇は法律を公布ス
第五十五條 天皇は法律を執行ス
第五十六條 天皇は法律を公布ス
第五十七條 天皇は法律を執行ス
第五十八條 天皇は法律を公布ス
第五十九條 天皇は法律を執行ス
第六十條 天皇は法律を公布ス
第六十一條 天皇は法律を執行ス
第六十二條 天皇は法律を公布ス
第六十三條 天皇は法律を執行ス
第六十四條 天皇は法律を公布ス
第六十五條 天皇は法律を執行ス
第六十六條 天皇は法律を公布ス
第六十七條 天皇は法律を執行ス
第六十八條 天皇は法律を公布ス
第六十九條 天皇は法律を執行ス
第七十條 天皇は法律を公布ス
第七十一條 天皇は法律を執行ス
第七十二條 天皇は法律を公布ス
第七十三條 天皇は法律を執行ス
第七十四條 天皇は法律を公布ス
第七十五條 天皇は法律を執行ス
第七十六條 天皇は法律を公布ス
第七十七條 天皇は法律を執行ス
第七十八條 天皇は法律を公布ス
第七十九條 天皇は法律を執行ス
第八十條 天皇は法律を公布ス
第八十一條 天皇は法律を執行ス
第八十二條 天皇は法律を公布ス
第八十三條 天皇は法律を執行ス
第八十四條 天皇は法律を公布ス
第八十五條 天皇は法律を執行ス
第八十六條 天皇は法律を公布ス
第八十七條 天皇は法律を執行ス
第八十八條 天皇は法律を公布ス
第八十九條 天皇は法律を執行ス
第九十條 天皇は法律を公布ス
第九十一條 天皇は法律を執行ス
第九十二條 天皇は法律を公布ス
第九十三條 天皇は法律を執行ス
第九十四條 天皇は法律を公布ス
第九十五條 天皇は法律を執行ス
第九十六條 天皇は法律を公布ス
第九十七條 天皇は法律を執行ス
第九十八條 天皇は法律を公布ス
第九十九條 天皇は法律を執行ス
第一百條 天皇は法律を公布ス

大日本帝國勳章

警察官
勳章
授與
理由

大日本帝國政府

理由

警察官與授與ノ實績ニ鑑ミ且近時警察活動分野ノ繁劇深刻化ニ對處
シ警察機能ノ一層ノ振作ヲ圖ル爲ニハ警視、消防司令等高等官ノ行
賞並ニ警察部内外ノ團體行賞ノ途ヲ拓キ以テ其ノ適正ヲ期スルノ要
アリト認メラルルニ依ル

大日本帝國政府

第四條第一項中「功勞アリト認ル者」ノ下ニ「又ハ團體」ヲ加フ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

津 越 國 帝 本 日 大

津越國皇帝本日本大... (The text on this page is extremely faint and largely illegible due to the quality of the scan. It appears to be a list or a series of short paragraphs.)

大日本帝國憲法

第一章 總則
第一條 大日本帝國由天子統治之
第二條 天皇為日本國之元首、總攬國權、行使之
第三條 天皇之權、由議會輔弼之
第四條 天皇之命令、由內閣輔弼之
第五條 天皇之命令、由國務卿署名、以公布之
第六條 天皇之命令、由國務卿署名、以公布之
第七條 天皇之命令、由國務卿署名、以公布之
第八條 天皇之命令、由國務卿署名、以公布之
第九條 天皇之命令、由國務卿署名、以公布之
第十條 天皇之命令、由國務卿署名、以公布之

大日本帝國政府

理由

警察賞與授與ノ實績ニ鑑ミ且近時警察活動分野ノ繁劇深刻化ニ對處
シ警察機能ノ一層ノ振作ノ圖ル爲ニハ警視、消防司令等高等官ノ行
官並ニ警察部内外ノ團體行賞ノ途ヲ拓キ以テ其ノ適正ヲ期スルノ要
アリト認マラレルニ依ル

警察官、消防官吏、其ノ他警察事務ニ従事スル者ニシテ警察上特ニ功勞アリト認ムル者ニ對シテハ高等官ニ在リテハ内務大臣、其ノ他ノ者ニ在リテハ所屬廳府縣長官左ノ區分ニ依リ之ヲ賞與ス但シ勅任官、及奏人タル警視廳官房主事及各部長、大阪府警察局長並ニ廳府縣警察部長ニハ第一號ノ賞與ハ之ヲ行ハザルモノトス

警察賞與規則施行細則抄

第一條 警察官吏、消防官吏其ノ他警察事務ニ従事スル者ニシテ警察上特ニ功勞アリト認ムル者ニ對シテハ高等官ニ在リテハ内務大臣、其ノ他ノ者ニ在リテハ所屬廳府縣長官左ノ區分ニ依リ之ヲ賞與ス但シ勅任官、及奏人タル警視廳官房主事及各部長、大阪府警察局長並ニ廳府縣警察部長ニハ第一號ノ賞與ハ之ヲ行ハザルモノトス

賞與

功勞依群一級ノ勳章トシテハ五百圓、特別賞



第...條
...

...

...

大日本帝國政府

...

...

...

...

...



大日本帝國憲法

...

大日本帝國政府

...

第三條

...

略

右同

右同

四右同



大日本帝國憲法

警察賞與規則施行細則

明治四十三年十二月二十九日
内務省令第三十二號

改正 昭和十一年一月内務省令第四十六號

昭和十一年一月内務省令第五號

大日本帝國政府

第一條 警察官吏、消防官更其、他警察事務ニ従事スル者ニシテ警察
上特ニ功勞アリト認めル者ニ對シテハ高等官ニ在リシハ内務大臣其
ノ他ノ者ニ在リテハ所屬廳府縣長官左ノ區別ニ依リ之ヲ賞與ス但シ
勅任スル者及奏任タル警視廳官房主事各部長、大阪府警察局長
及廳府縣警察部長第一號ノ賞與ハ之ヲ行ハザルモノトス

大日本帝國憲法

第三條 前二項ノ功勞者賞與前左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ賞與ヲ
 行ハザルモトス

大日本帝國憲法

賞與金 百圓以内ノ賞與

二 賞詞

功勞拔群一般ノ勳鑑ト爲ルヘキ者ニ對シテハ金五百圓迄ノ特別賞詞
 授與スルコトヲ得但シ非常異變ニ際シ又ハ其ノ他特ニ重大ナル危險
 フ冒シタル場合ニ於テ特別ノ必要アリト認ムルトキハ其ノ金額一
 圓迄トスルヲ得

第三條 警防團員ニシテ水火消防其ノ他ノ警防ニ關シ功勞

第三條 前二項ノ功勞者賞與前左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ賞與ヲ

行ハザルモトス

大日本帝國憲法

第一條 大日本帝國由天子統治之
第二條 天皇為國家元首
第三條 天皇之權由議會行使之
第四條 議會由眾議院及貴族院組成之
第五條 眾議院由國民選舉之
第六條 貴族院由皇室親屬及勳章者組成之
第七條 天皇任命及解任大臣
第八條 天皇任命及解任法官
第九條 天皇任命及解任官吏
第十條 天皇任命及解任軍官
第十一條 天皇任命及解任勳章者
第十二條 天皇任命及解任勳章者
第十三條 天皇任命及解任勳章者
第十四條 天皇任命及解任勳章者
第十五條 天皇任命及解任勳章者
第十六條 天皇任命及解任勳章者
第十七條 天皇任命及解任勳章者
第十八條 天皇任命及解任勳章者
第十九條 天皇任命及解任勳章者
第二十條 天皇任命及解任勳章者

賞與

大日本帝國政府

第一條 大日本帝國政府由內閣組成之
第二條 內閣由天皇任命及解任
第三條 內閣總理大臣由天皇任命及解任
第四條 內閣各部大臣由天皇任命及解任
第五條 內閣各部大臣由天皇任命及解任
第六條 內閣各部大臣由天皇任命及解任
第七條 內閣各部大臣由天皇任命及解任
第八條 內閣各部大臣由天皇任命及解任
第九條 內閣各部大臣由天皇任命及解任
第十條 內閣各部大臣由天皇任命及解任
第十一條 內閣各部大臣由天皇任命及解任
第十二條 內閣各部大臣由天皇任命及解任
第十三條 內閣各部大臣由天皇任命及解任
第十四條 內閣各部大臣由天皇任命及解任
第十五條 內閣各部大臣由天皇任命及解任
第十六條 內閣各部大臣由天皇任命及解任
第十七條 內閣各部大臣由天皇任命及解任
第十八條 內閣各部大臣由天皇任命及解任
第十九條 內閣各部大臣由天皇任命及解任
第二十條 內閣各部大臣由天皇任命及解任

救護

大日本帝國勳章

勳章ノ授與ハ勳章令ニ依リテ之ヲ行フ
勳章令ハ勳章ノ種類及授與ノ手續ニ關シテ之ヲ定ムルモノナリ
勳章ノ授與ハ勳章令ニ依リテ之ヲ行フ
勳章令ハ勳章ノ種類及授與ノ手續ニ關シテ之ヲ定ムルモノナリ
勳章ノ授與ハ勳章令ニ依リテ之ヲ行フ
勳章令ハ勳章ノ種類及授與ノ手續ニ關シテ之ヲ定ムルモノナリ

大日本帝國政府

四 急遽ノ際警察官ニ對シテ爲シタル協力
前項第一項ニ依ル賞與ハ確定判決ニ至ラズト雖犯罪ノ事實明白ナ
リト認ムヘキトキハ之ヲ行フコトヲ得
第五條 前條ニ依リ賞與ハ左ノ區別ニ依リ廳府縣長官之ヲ行フ
一 前條第一號ノ場合ニ於テハ最初ニ犯罪人ヲ受取リタル官署所
在ノ廳府縣
二 前條第二號及第三號ノ場合ニ在テハ行爲地所轄廳府縣
三 前條第四號ノ場合ニ在テハ協力ヲ受ケタル警察官所屬廳府縣
第六條 第四條ノ功勞者ニシテ賞與前處刑セラルルトキハ賞與ヲ
行ハサルコトアルヘシ

大日本帝國憲法

第一條 大日本帝國由天子統治之
第二條 天皇國體萬世不易
第三條 天皇神圣不可侵犯
第四條 天皇以法律為限
第五條 天皇任命及解任大正大臣
第六條 天皇任命及解任國務大臣
第七條 天皇任命及解任大審院長
第八條 天皇任命及解任大法官
第九條 天皇任命及解任大勳章
第十條 天皇任命及解任大勳章
第十一條 天皇任命及解任大勳章
第十二條 天皇任命及解任大勳章
第十三條 天皇任命及解任大勳章
第十四條 天皇任命及解任大勳章
第十五條 天皇任命及解任大勳章
第十六條 天皇任命及解任大勳章
第十七條 天皇任命及解任大勳章
第十八條 天皇任命及解任大勳章
第十九條 天皇任命及解任大勳章
第二十條 天皇任命及解任大勳章

大日本帝國政府

應州縣長官第一項又ハ第二項ニ依リ賞與スベキモノニ關シテハ之ニ實狀ヲ授與スルモノニス
第一條 中一 警防團員ハ中一 警防團又ハ警防團員トシテ一 功勞アル者ハ中一 功勞アルモノトシテ改ム
第四條 第一項中一 功勞アル者ハ中一 功勞アル者トシテ一 功勞アル者トシテ加フ
附則
本條ハ公布之日ヨリ之ニ施行ス

理由

警察賞與授與ノ實績ニ鑑ミ近時警察活動分野ノ深刻化ニ對處ニ
 警察機能ノ一層ノ振作ヲ圖ル爲ニハ警視、消防司令等高等官ノ行賞
 並ニ警察界内外ノ團體行賞ノ途ヲ拓キ以テ其ノ適正ヲ期スルノ要
 事ト認メラルルニ依リ

大日本帝國政府

警察賞與規則施行細則

(明治四十三年十二月二十二日)

第一條 警察官吏、消防官吏其ノ他警察事務ニ従事スル者ニシテ警察上特ニ功勞アリト認めル者、對シテハ警視、消防司令、委任ク
 技師、警部、消防士、消防機關士ニ在リテハ内務大臣其ノ他ノ
 者ニ在リテハ所屬廳府縣長官左ノ區分ニ依リ之ノ賞與
 一 賞與金 百圓以內ノ賞與

賞與

功勞拔群ニ般ニ鑑賞スル者ニ對シテハ金五百圓迄ノ特別賞
 フ授與スルコトヲ得但シ非常ニ異變ニ際シテハ其ノ他特別ノ重入シ
 ル危險ヲ冒シタル場合ニ於テ特別ノ必要アリト認めルコトニテハ其ノ



金額ヲ千圓迄上スコトヲ得

廳府縣長官前項但書ノ賞與ヲ行ハントスル場合ハ内務大臣ノ認前
ノ受クハシ

廳府縣長官第一項又ハ第二項ニ依リ賞與スベキモノ團體ナルトキ

ハ之ニ賞狀ノ授與スルコトトス

第三條 警防團又ハ警防團員ニシテ防空、水火消防其ノ他、警防ニ

關シ功勞アルモノニ對シテハ前條ノ規定ヲ準用ス

第三條 前二條ノ功勞著實與前左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ賞與

ヲ行フザルコトトス

刑罰事件ニ關シ起訴トシテモトキ

大日本帝國憲法

一、職權の處分ニ依リ其ノ職ヲ免セラルトキ
二、文官分限令第十一條第一項第一號ニハ巡査分限令第五條第一
項第一號ニ依リ律職ノ命モシテタルトキ
三、職務ノ爲ニハルニ非スシテ左ノ事項ニ關シ其ノ功勞ニ由リ
認ムル者又ハ團體ニ對シテハ第一條ノ區別ニ依リ之ニ賞與スル
犯罪人ノ逮捕又ハ押査
四、人命救助
五、凶徒又ハ未成災、傳染病流行其ノ處災害事柄ニ及ケル者
六、引渡又ハ救護
七、訴訟ニ際シテ新シテ爲シタル協定事項ニ關シテハ其ノ賞與
八、豫定判決ニ至ラズト雖モ犯罪ノ事實明白ナリ、認ムルトキハ

大日本帝國政府

一、職權の處分ニ依リ其ノ職ヲ免セラルトキ
二、文官分限令第十一條第一項第一號ニハ巡査分限令第五條第一
項第一號ニ依リ律職ノ命モシテタルトキ
三、職務ノ爲ニハルニ非スシテ左ノ事項ニ關シ其ノ功勞ニ由リ
認ムル者又ハ團體ニ對シテハ第一條ノ區別ニ依リ之ニ賞與スル
犯罪人ノ逮捕又ハ押査
四、人命救助
五、凶徒又ハ未成災、傳染病流行其ノ處災害事柄ニ及ケル者
六、引渡又ハ救護
七、訴訟ニ際シテ新シテ爲シタル協定事項ニ關シテハ其ノ賞與
八、豫定判決ニ至ラズト雖モ犯罪ノ事實明白ナリ、認ムルトキハ

大日本帝國政府

之ヲ行フコトヲ得

第五條 前條ニ依ル賞與ハ左ノ區別ニ依リ廳府縣長官之ヲ行フ

一 前條第一號ノ場合ニ於テ、最初ニ犯罪人ヲ受取リタル官署所

在地ノ廳府縣

二 前條第二號及第三號ノ場合ニ在リテ行為地^所轄廳府縣

三 前條第四號ノ場合ニ在リテハ協力ヲ受ケタル警察官所屬廳府

縣

第六條 第四條ノ功勞者ニシテ賞與前條所定ノ額トキハ賞與ヲ

行ハザルコトアルニシテ

第七條 功勞者官與前ニ死亡シタルモノハ賞與ノ金額ハ左ノ順位ニ



大日本帝國皇親

大日本帝國政府

第一 其ノ家ニ在ル親族ニ之ヲ給ス但シ同順位間ニ在リテハ其ノ親
等ノ最モ近キ者ヲ先ニシ同親等間ニ在リテハ男ハ女ニシテ同性間ニ
在リテハ長ハ幼ニ先ツ

- 一 配偶者
- 二 直系卑屬
- 三 直系尊屬
- 四 兄弟姉妹

附 則
本令ハ明治四十四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

内務省